

# 便処置を減らし自力排便 を促す取り組み

介護老人保健施設はまかぜ入所 Aチーム

○富永萌香 石田理乃 溝中由衣 松本オリ工

渡部静登 小林さつき 田中ちえ 玉田美穂

足立貢一 池田美幸 宮本恵理子



# はじめに

オリゴ糖の摂取と排便体操やマッサージを通して、できるだけ便処置をせず、自力排便を促す活動に取り組んだ結果を報告する。

※今回の活動では、便処置を行わずに排泄したものを以下「自力排便」とする。



# 取組内容

期間：令和4年4月～12月

対象：便秘が多い5名

方法：1.対象者の選定と勉強会の実施  
2.排便日誌を作成し、排泄状況  
のアセスメントを行う  
3.オリゴ糖摂取の開始  
4.体操の開始



# 方法

## 1.対象者の選定と勉強会の実施

4月～5月末までの利用者の便処置回数を調査し、多職種による勉強会を開いて対象利用者を決定する。



# 方法

## 2. 排便日誌を作成し、排泄状況の アセスメントを行う

便の回数、形状、処置の有無のデータを  
収集する。

排便日誌

日中トイレ・Pトイレ・オムツ  
夜間トイレ・Pトイレ・オムツ

氏名:

令和 年 月

日付	下剤		自力排便	便処置			反応便	運動
	薬名	量		GE	レシカ	摘便		
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								



# 方法

## 3.オリゴ糖摂取の開始

7月より1日1回オリゴ糖投与を開始。具体的には15時のお茶に混ぜて提供する。嚥下が難しい利用者にはトロミ茶に混ぜて提供する。



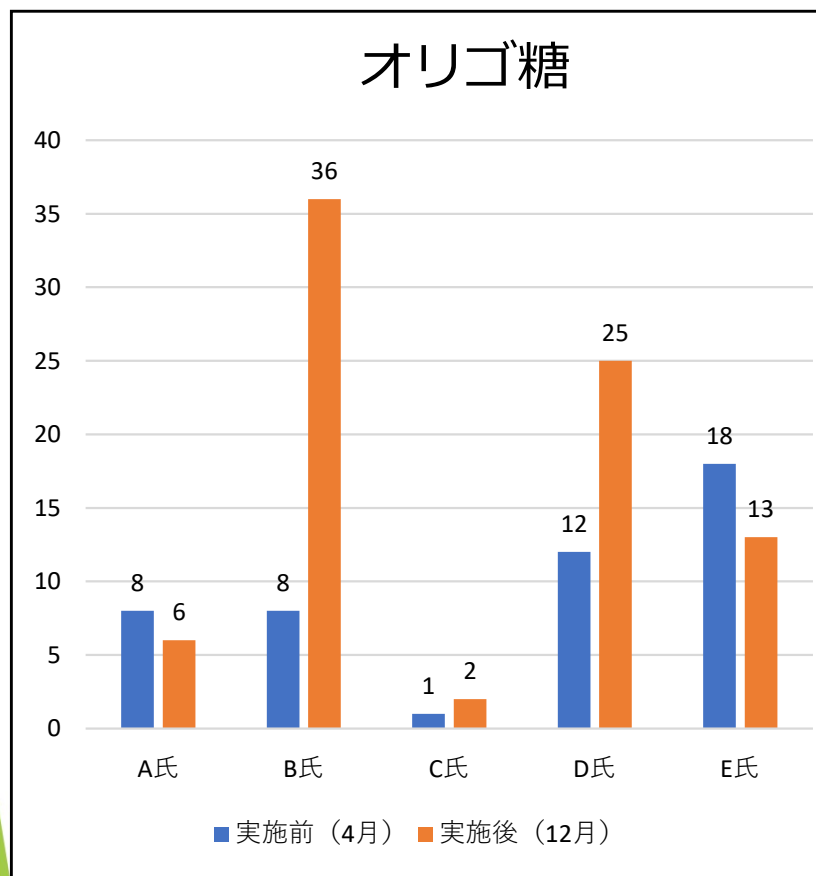
# 方法

## 4.体操の開始

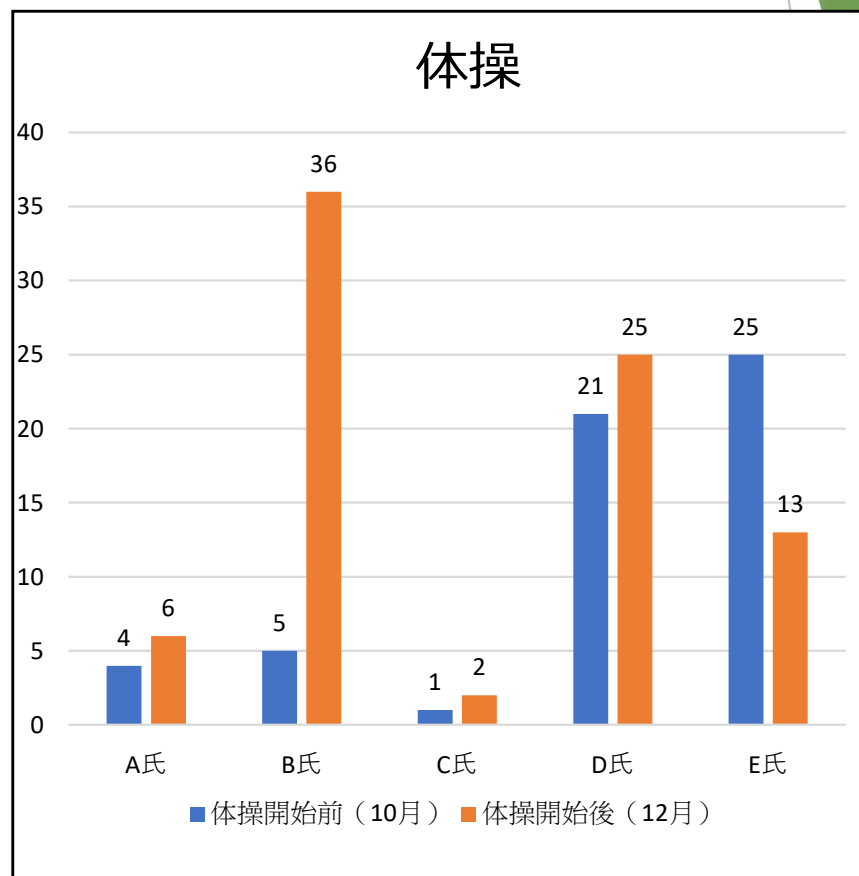
10月から腸を刺激し蠕動運動を高め、  
便意を促す為の体操をリハビリスタッフ  
指導のもと行う。



# 結果（自力排便数）



5人中3人が増加



5人中4人が増加





# 考察

オリゴ糖と体操が自力排便を促す効果を立証することができた。このことは腸内環境が良くなり自力排便を促したと考えられる。



# おわりに

今回の活動を通して、オリゴ糖と体操を実施することで、便措置を減らし、自力排便を促す事で、利用者の苦痛軽減に繋がった。今後も活動を継続して行きたい。

